

# 洗心荘通信

Senshin-sou Tsuushin

2011年3月31日発行 洗心荘広報委員会  
TEL 0266-28-6537 FAX 0266-28-3949  
HP : <http://www.lcv.ne.jp/~sensinso/>

今冬は、随分と雪に悩まされましたが、皆様、如何お過ごしでしょうか？

洗心荘からも岡谷市内が真っ白に染まるのが見え、「随分沢山降ったねえ〜。」「諏訪湖は凍ったのかねえ〜？」等々、ご利用者様からも感嘆の声が聞かれました。もう少しすれば春の訪れを感じる事が出来るでしょうか？

さて、今回の広報は、洗心荘の1年を振り返っていききたいと思います。(右門)

## ぼた餅大会！

3月25日。1丁目では、春のお彼岸に合わせて「牡丹餅会」を開きました。丸めたお餅をご利用者様がご自分で胡麻やきな粉、餡を付け、春の歌を歌いながら楽しく会食しました。



### 《牡丹餅とお萩の由来》

牡丹餅の名は、赤い小豆餡を付けたところが、牡丹の花に似ているところから名付けられました。

基本的に「牡丹餅」と「お萩」に違いは無いが、花の季節に合わせて、春から初夏にかけて作る物を「牡丹餅」と呼び、秋に作る物を「お萩」と呼びます。

また、餡を付けた物を「牡丹餅」、黄粉を塗した物を「お萩」と言ったり、漉し餡を使った物を「牡丹餅」、粒餡を使った物を「お萩」と定義されることもあるが、地方・時代・お店によって異なるそうです。基本的に同じものなので、季節や作り方に関係なく「お萩」と呼ぶことが多いです。

## より良い介護を目指して…。 看護・介護職員のケア連携協働の為の研修



厚生労働省が示す研修方法に基づき、特別養護老人ホームにおける看護・介護職員のケア連携協働及び医療的ケアの質の向上を図る為、看護職員指導の元、施設内研修を実施しています。

この研修により、施設内で今後増加していくであろう医療的業務にも看護・介護が共通の認識で業務が行える事を目指しています。また、現在行われているケアよりも、より良いケアサービスが出来る様、施設一丸となって取り組んでいます。

# 洗心荘の 春夏秋冬

平成 22 年度において洗心荘では様々な行事を行ってきました。  
今まで発行した広報に掲載できなかった行事等を中心に洗心荘の1  
年を季節ごとに分けて紹介していきたいと思います。  
明日から新年度になります。4月からはどんな行事やイベントが待  
っているのでしょうか？楽しみですよね♪（古宮）

厳しかった冬を越え、春の訪れに自然と笑みのこぼ  
れるこの時期、桜を見に出かけたり、買い物に出かけ  
たりと、外へ出る機会の増える季節です。

そう、春は色々な事が始まる時期。何だかワクワク  
してきますね。

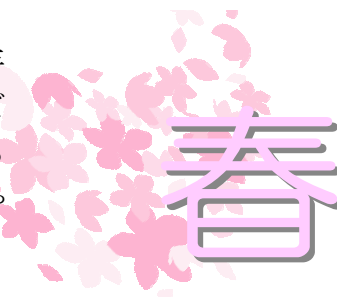
また、去年は7年一度の奇祭御柱祭の年でした御柱  
祭が開催されていた時期は、ご利用者様も TV に釘付  
けになり、大きな声で「ヨイサー！ヨイサー！」と一  
緒になって楽しんでいらっしゃいました。



そして5月には、「洗心つつじ祭」も開催され、手作りカレーに皆様美味しい  
美味しいと舌鼓を打っていらっしゃいました。



手作りおやつ会では、水羊  
羹を作ったりもしました。ご  
利用者様も一緒になって作っ  
て頂き、とっても楽しいおや  
つ会になりました。



ジメジメとした梅雨が明け、いよいよ夏本番！今回  
の夏は一段と暑い夏となりました。

そんな中盛り上がったのはやはり「涼」の行事。流  
し素麺大会やスイカ割り、かき氷等々。大いに盛り上  
がっていました。また、暑さに負けずはりきったのは、  
洗心荘夏の最大イベント「納涼祭」。今回は御柱祭の年  
に合わせて、洗心荘でも柱を曳きました。皆様の協力  
で、大成功のうちに終える事が出来ました。



残暑厳しい中でも、段々と日が短くなっていくのを感じては、秋が訪れているとしみじみ実感します。

秋は、「食欲の秋」と云う事もあり、食べ物が美味しい季節ですね。秋になると心なしか食べ物に関連した行事が増えるように感じます。今秋も「秋」を沢山頂きました。

また、この時期増えるのが「外出」。夏の厳しい日差しが和らぐこの季節、何処かに出掛けるにはもってこいの時期です。皆様、思い思いの場所にお出掛けされ、「秋」を満喫されていらっしゃいました。

※洗心荘では可能なかぎり利用者の方の希望に沿った外出行事を行っています。



1年が過ぎるのはあっという間ですね。年の瀬には各階でクリスマス会や忘年会を行いました。忘年会等には、お酒も少し出たりして。たまには飲んでもいいですよ。 “来年もいい年になりますように”と皆さんで願いつつ、1年の労をねぎらいました。

また、新年には書き初めを行い、今年の抱負をしたためていただきました。中には、福笑い、カルタ遊び等をしているフロアもあり、笑顔で新年を迎えました。



# 洗心かわら版

今号から始まった、“洗心かわら版”このページでは、洗心荘に関する様々な情報やちょっと役立つ情報を発信していきたいと思います。

## 医務室 だより

毎年流行するインフルエンザ。何故、冬場に流行するのでしょうか？それは、インフルエンザが空気感染をする事、冬場は空気が乾燥するという事、また寒くて乾燥した空気は、気道粘膜の抵抗力を弱める事等、全ての面でインフルエンザウィルスにとって好条件が整っているからです。

Letter from medical office Letter from medical office Letter from medical office

インフルエンザウィルスは大きく分けて、A型・B型・C型の3種類があり、このうちヒトの世界で流行し問題となるのは、A型とB型です。インフルエンザウィルスは感染後、1～3日間の潜伏期間を経て、突然高熱が出て発病します。

主な症状としては、高熱（38～40℃）や頭痛、筋肉痛、全身の倦怠感等の全身症状と、喉の痛み、咳や痰等の呼吸器の急性炎症症状等があります。発熱は通常3～7日間続きます。健康な成人であれば1週間程で治癒に向かいますが、熱が下がっても体内にはウィルスが残っている為、他人にうつす恐れがあります。1週間位は安静にしていることが大切です。

Letter from medical office Letter from medical office Letter from medical office

インフルエンザは、予防接種を受けたからといって絶対に罹らないという訳ではありません。予防接種を受けていると、罹患しても高熱が出ない事（微熱程度）もありますので、発熱が見られたら直ぐに医療機関を受診し、検査を受けましょう。（藤森）

今回のテーマ

# インフルエンザ

についてです。

## 新規・中途採用者オリエンテーション

3月2日。新規・中途採用者対象の法人全体オリエンテーションが、洗心荘で行われました。オリエンテーションには、関連施設の職員も参加し、約20名が出席しました。

午前中は、井口光世理事長、上條洗心荘所長のお話、高齢者の介護、生活相談等の研修を受けました。午後には、各事業所の見学、岡谷消防署職員による救命救急講習等が行われ、参加した職員は皆、緊張が入り混じった真剣な面持ちで諸先輩方の話に耳をかた向けていました。

明日からいよいよ新年度が始まりますが、全職員一同、ご利用者様を第一に考え、地域の皆様に信頼され貢献できるケアサービスが提供出来るよう、心がけていきたいと思います。

